

(1面)
・「庄川左岸地区」完工特集

(2面)
・令和6年度とやま水土里フォーラム
・令和6年度富山県多面的機能支払研修会
・「種田地区」完工式
・中山間地域保全パートナーシップ協定の締結

となみ野水土里通信

第51号

令和6年11月29日

富山県砺波農林振興センター
農業農村整備広報・広聴連絡会議
〒939-1386 砺波市幸町1番7号
電話(0763)32-8124【指導課】

「庄川左岸地区」 完工特集

《工事期間》
15年間
《事業内容》
水路：L=39.2km(20路線)
【砺波管内：L=20.9km(14路線)】
調整池：7ヶ所
【砺波管内：4ヶ所】
水管理施設(中央管理所)：1式
《総事業費》
244億4千万円

国営附帯県営農地防災事業「庄川左岸地区」の完工式が令和6年10月9日(水)、受益地である高岡、砺波、小矢部、南砺の4市長や土地改良区関係者等約190人の出席のもと行われました。

本事業の目的は、農業用排水施設の排水能力を回復させ、農地の湛水、農業用排水施設等の被害を防止することにより、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることであり、受益地は4市合わせて約6,212haです。

平成21年度に着手した国営総合農地防災事業に続いて平成22年度に県営事業として着手し、農業用排水路20路線計39.2kmや洪水調整池7カ所、排水の一元管理システムを整備しました。

近年、局部的に短時間で降る集中豪雨が増加していますが、令和5年の7月豪雨でも被害がなく、既に大きな防災効果を発揮しています。



庄川左岸地区 事業経過報告

事業経過報告



知事挨拶



完工式列席者

庄川左岸地区完工式 (令和6年10月9日)



狐島調整池

一期地区
(平成22年度～平成28年度)



山王川調整池

二期地区
(平成24年度～平成29年度)



海尻川調整池

海尻川排水路



若林口用水路



善如分水場

三期地区
(平成29年度～令和5年度)



中央管理所



舟戸口用水路

千保口用水路

四期地区
(平成30年度～令和5年度)



令和6年度とやま水土里フォーラム

令和6年10月17日(木)に黒部市国際文化センターコラーレにおいて「とやま水土里フォーラム」が開催されました。

今年度砺波管内では、山田八司氏(南砺市)がとやま水土里賞を受賞されました(写真①)。山田氏は平成24年から林道地内の防災重点ため池である「打尾谷ため池」を管理し、日常の維持管理だけでなく加え大雨前後のため池水位や用水調整等を行い、土地改良施設の維持管理や、多面的機能の発揮、土地改良事業を契機とした農村地域の振興に尽力したことが評価され、今回授与されました。

表彰式後は、受賞団体による事例発表及び「とやまの農業を支える多様な担い手、つなぐ未来」と題したパネルディスカッションが行われました。今回のフォーラムでは、昨年度同様農業高校の学生が参加しており、参加した入善高校農業科の生徒からパネリストの方に「これからの農業はもつと女性も働きやすい環境になっていきますか?」「農業の魅力は何ですか?」等、多くの質問が出ていました(写真②)。



① 受賞された山田氏



② 参加した高校生からの質問

令和6年度富山県多面的機能支払推進研修会

令和6年10月30日(水)に富山産業展示館(テクノホール)において標記研修会が開催され、県内から約1,000人の方が参加しました。

研修テーマに「人口減少社会を見据えた地域の若年層・非農家の参画促進、複数集落の緩やかな連携」を掲げ、事例紹介では、福井県小浜市の一般社団法人 宮川グリーンネットワークの竹中忠氏が、土地改良区及び営農組織と一体となった円滑な地域運営体制の構築についてご講演されました。また、入善町の青木地区 高澤英輝氏からは複数集落の緩やかな連携について、実際に8つの集落で活動を行っている同地区での取組をご紹介いただきました。



研修会の様子



「種田地区」完工式

県営農地整備事業「種田地区」完工式が令和6年10月29日(火)に産師県議会議員、齊藤副市長、山森市議会議員をはじめ地元関係者、工事関係者など多数出席のもと執り行われました(写真①)。

本地区の基盤整備は、昭和47年〜昭和53年にかけて県営ほ場整備事業庄川地区で行われましたが、約40年の経過に伴う用排水施設の老朽化により、営農活動に支障を来している状況でした。

そこで、営農効率の向上を図るとともに、担い手への農地集積をさらに促進させ、効率的で安定した農業経営の継続と発展を図るため、平成29年度に「種田地区」が着工しました。

水路整備1.6、0.23m、区画整理0.8ha、客土1.8haの実施に合わせ、先進的な取り組みとして多機能型自動給水栓を211基設置し、水管理の省力化や作業の軽減を図りました(写真②)。

働き手の高齢化、担い手の多様化が進んでいく中で、整備された用排水路などを最大限利用し、ますます活力に満ち溢れた農業農村づくりが期待されます。



① 種田地区 完工式



② 種田地区 自動給水栓

中山間地域保全パートナーシップ協定の締結

令和6年9月13日(金)に南砺市(旧上平村)の楮集落と筑波大学世界遺産学学位プログラムが、パートナーシップ協定を締結されました。(写真①)。

楮集落では、以前より棚田を保全する活動が行われていたことと、筑波大学では世界遺産のある地域で保全活動に関わることが、世界遺産の保護やその地域社会のあり方を研究していたことから、協働で石積み棚田の修復や農作業などの活動を行ってききました。(写真②)。

コロナ禍で中断せざるを得ない期間あったことで、この交流による絆をさらに強くし、世界遺産の保護や地域社会を担うことについて理解を深め、中山間地域の魅力の発掘・発信により、関係人口、定住人口の増加など地域の持続的な発展に結びつけたいとの思いから、協定が締結されました。



① 協定締結式



② 棚田の保全活動

編集後記

今年も残すところ1カ月ほどとなりました。月日の流れは非常に早いもので、つい最近まで記録的な残暑が続いていたかと思えば、朝晩の急激な冷え込みを感じられるようになり、冬本番が近づいてきました。ぼちぼち冬支度を始めていく時期ですが、皆様はどうでしょうか。今後はより一層寒くなり、例年よりも積雪量の増加が見込まれています。通勤と体調管理に十分気を付けましょう。

(農地整備第一班 記)

ブログやっています。
“とやま水土里探訪ブログ”で検索を!
<http://facebook.com/toyama.nousonsebi>



☆砺波農林振興センター
管内の情報をホームページで発信中!!

<https://www.pref.toyama.jp/1633/r5tonaminourin.html>